

公立高等学校配置計画案（令和3年度（2021年度）～5年度（2023年度））の概要

○ 策定の考え方

＜趣 旨＞ 高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本とし、中卒者数の状況を踏まえ、学校・学科の配置や規模の適正化を図るため、令和3～5年度の計画を策定するとともに、令和6～9年度までの見通しを示す。

＜基本的考え方＞ 指針に基づき、教育水準の維持向上などを図る観点から、地域の実情等を考慮しながら、定員調整や再編整備等を行うとともに、多様なタイプの高校づくりを推進。

＜計画変更＞ 配置計画を策定した後、急激な中卒者数の増減や生徒の進路動向に大きな変動が生じた場合などは、計画を再検討。

1 令和3年度（2021年度）（令和元年度（2019年度）決定）高校配置計画の変更について

課程	区 分	学 校 名	計 画 変 更 の 内 容
全 日 制	学 級 減 (学科変更)	江 別	○1学級減とする学科について、生徒の進路動向の変化を考慮し、普通科から事務情報科に変更
	単 位 制 の 導 入	滝 川 登 別 青 嶺 旭 川 西 北 見 緑 陵	○生徒の多様な興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習が可能となるよう、新たに単位制を導入（北見緑陵は、普通科フィールド制から転換）
	地 域 連 携 特 例 校 の 導 入	月 形 (協力校：岩見沢東)	○教育環境の維持向上を図るため、新たに地域連携特例校を導入

2 令和4年度（2022年度）（令和元年度（2019年度）決定）高校配置計画の変更について

課程	区 分	学 校 名	計 画 変 更 の 内 容
全 日 制	理 数 科 の 設 置	函 館 中 部 北 見 北 斗	○理数教育の充実を図るため、それぞれ普通科1学級を理数科に転換
	フ ィ ー ル ド 制 の 転 換	札 幌 丘 珠	○生徒の特性や進路希望等を踏まえ、教育課程の工夫・改善を図るため、普通科フィールド制を普通科に転換
	新 た な 特 色 あ る 高 校	野 幌	○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度を育成する学校に位置付け、普通科に転換
	総 合 学 科 の 設 置	千 歳 北 陽	○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着や社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度を育成する学校に位置付け、専門教科も幅広く学習できるよう、総合学科に転換

3 令和5年度（2023年度）の高校配置計画案について

課程	区 分	学 校 名	主 な 計 画 の 内 容
全 日 制	学 級 減 ▲ 7	小 樽 潮 陵 ▲ 1 室 蘭 栄 ▲ 1 * 市 立 函 館 ▲ 1 旭 川 北 ▲ 1 旭 川 南 ▲ 1 旭 川 永 嶺 ▲ 1 美 幌 ▲ 1	○通学区域内の中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを勘案し、学級減
	募 集 停 止 ▲ 1	留 辺 薬 ▲ 1	○中卒者数の状況、学校規模、募集定員に対する欠員の状況、地元からの進学率などを勘案し、募集停止

(学校名の*は、市町村立高校)

4 地域連携特例校の再編整備の留保について

学 校 名	主 な 計 画 の 内 容
月形、穂別、南茅部、上ノ国	○所在市町村をはじめとした地域における、高校の教育機能の維持向上に向けた具体的取組とその効果を勘案し、再編整備を留保